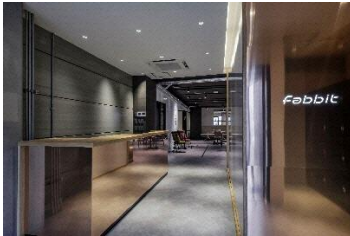


【令和2年度 第4回宗像ビジネス交流会「むな BIZ」】

令和2年度第4回宗像ビジネス交流会「むな BIZ」を、2020年に OPEN した「fabbit 宗像」にて1月29日（金）に開催しました。

なお、当日はソーシャルディスタンス確保のため、会場でのご参加は講演者ならび関係者のみとさせて頂き、その他参加希望者には会場の様子をオンライン配信致しました。

少しでも「むな BIZ」の様子をお伝え出来るよう、レポートをお届け致します。



会場：fabbit 宗像 1



会場：fabbit 宗像 2

「fabbit 宗像」・・・スタートアップ企業支援／コワーキングスペース等を備えた施設。宗像市、宗像市商工会、および fabbit にて「創業支援事業に関する連携協定」を締結し、宗像市発の地方創生実現を目指しています。

URL (<https://fabbit.co.jp/facility/munakata/>)

【第4回テーマは「デザイン経営とは？」】

毎回「むな BIZ」では各回で流行のビジネステーマを設定し、講演やパネルディスカッション、交流会を実施しています。2021年最初の開催となる第4回「むな BIZ」は「デザイン経営とは？」をテーマに拡大版として、いつもより30分長く開催致しました。私は「デザイン経営」という言葉を初めて耳にしましたが、特別なことではなく既に起業している方、これから起業を考えている方にぜひ聞いて頂きたい内容でした。本レポートでは情熱の学校・代表のエサキヨシノリ氏、宗像市在住のデザイナーの谷口竜平氏、お二人によるデザインという観点から見た経営に関する講演や事例についてご紹介致します。

fabbit 宗像ゼネラルマネージャー・田嶋啓氏に司会を務めて頂き、モデレーターとしてこちらも「むな BIZ」ではお馴染みの日本を代表するエンジェル投資家であるボードウォーク・キャピタル株式会社の代表取締役社長・那珂通雅氏が東京からリモートにてご参加されました。

冒頭、那珂氏による経済動向ワンポイントレクチャーとして、コロナ化における株価上昇率についてご紹介頂きました。アメリカ・日本共に IT 関連企業の株価が特に上昇しており、小売で見ると外出自粛の影響により EC（ネットショッピング）市場が拡大していると詳細なデータを基にご解説頂きました。また、今回のテーマである「デザイン経営」を導入している企業イメージランキングでは「アップル」「ソニー」「トヨタ」が TOP3 であるとして時価総額の高さとの関連性についてもご紹介されました。



司会・田嶋氏



モデレーター・那珂氏



那珂氏 登壇風景

<特別講演 エサキ ヨシノリ 氏 (情熱の学校・代表) >

特別講演にてオンライン登壇頂いたエサキヨシノリ氏は、純日本系&外資系、両方の広告代理店営業マンとして活躍され、2004年に独立。現在は大阪を拠点に中小企業の経営課題をブランディング視点で解決するため「情熱の学校」を立ち上げられ、情熱ブランディングプロデューサーとして営業・プロデューススケアップセミナーを展開されています。今回の講演では「デザイン経営」についてポップな資料を基に分かりやすくご説明頂き、途中歌が流れるという楽しい演出もございました。

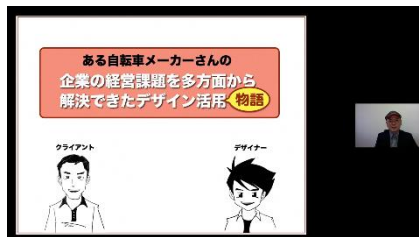
初めに、これからの時代、企業における経営課題解決を考える上で重要度が増しているのが「デザインの活用」であり、「デザイン」を単純に広告・販促の為でなく、人事・採用、商品開発、社内モチベーションアップなど企業の経営資源である「ヒト・モノ・カネ・情報」の課題解決・企業価値向上に活用することが「デザイン経営」であると述べられました。これまでは数値重視の経営戦略が主流であったのですが、これからは利益追求やスペック・価格訴求といった数値だけでなく、数値では分からない喜びや楽しさを掘り起こすためのデザインを重視した経営戦略を行うことでブランド力やイノベーション力が向上し、その結果企業の競争力向上に繋がるとお話しされました。

次に、経営課題をデザイナーと一緒に多方面から解決したデザイン活用事例として、ある自転車メーカーとデザイナーとのやり取りを物語風にご紹介頂きました。経営者は商品アピール力アップのためにWEBサイトのリニューアルを考えたのですが、その奥には社員の能力や意識向上、新事業開発など様々な課題も解決したいという思いを抱えています。しかし、デザイナーに相談して解決出来る領域とは思っていないため話にも上がらなかったのですが、デザイナーから、WEBサイトのリニューアルだけでなく企業ブランドコンセプトの明確化や社員を巻き込んだコンテンツ作成の提案があり、その結果、SNS展開や地域イベント・展示会、コンセプトがメディアに取り上げられ大きな話題となりました。その後もデザインを凝らせた企業社歌や企業漫画作成というユニークな取り組みを行い、自然と社員の団結力やモチベーション・楽しみに繋がっていき、「デザイン」を当初のWEBサイトのリニューアルという販促手段だけでなく、デザイナーと一緒に見やすく・分かりやすく・使いやすく面白くバージョンアップする手段となり様々な課題解決に繋がったという事例紹介でした。その中で実際の企業社歌PVが流れ、イベント終了後のアンケートでも非常に反響がございました。最後に重要ポイントとしては、デザインとは関係ないと思われる課題を臆せず話せるような「良きパートナーと出会う事」と述べられました。

情熱の学校 URL (<https://jounetsu.jp/>)



エサキ氏 登壇風景 1



エサキ氏 登壇風景 2

<市内事業者事例講演 谷口 竜平 氏 (宗像市在住デザイナー/合同会社渡海屋 共同創設者) >

地元事業者の事例講演として宗像市出身・在住のデザイナーで fabbit 宗像のブランディングサポーターも務めて頂いている谷口竜平氏をご登壇されました。谷口氏はデザイナー・ディレクター・プロデューサーとして多岐に亘って活躍され、2020年には宗像大島にて仲間と島づくり会社「合同会社渡海屋」を設立し地域創生のために日々活動されております。「地方で取り組むデザイン経営事例」をテーマに谷口氏がお仕事をされる中で大切にしている「デザイン」についてお話し頂きました。

はじめに、くまモンをデザインした水野学氏の言葉を借りてブランディングとは「見え方のコントロール」であり、会社らしさや商品らしさなど「らしさ」を積み重ねていく手段がデザインであると述べられ、それを中・長期化かつ言語化・具現化することで経営者の意識変化や社員のモチベーションに繋がると話されました。また、谷口氏が手掛

けている「渡海屋」や「宗像日本酒プロジェクト」「むなかた常若ストリートフェスティバル」などのポートフォリオを基にロゴやネーミングの由来、裏話を多数ご紹介頂きました。最後は宗像について、自然が多い事・長い歴史をもつことをポテンシャルとして挙げ、「デザイン」を活用することで宗像の良さがより発揮されると結ばれました。

合同会社渡海屋 URL (<http://tokaiya.site/>)



谷口氏 登壇風景 1



谷口氏 登壇風景 2

<パネルディスカッション>

モデレーターの那珂氏、登壇頂いたエサキ氏、谷口氏の3名によるパネルディスカッションでは、テーマである「デザイン経営」と地方との関連性や視聴者からのQ&Aが行われました。

地方との関連性について、エサキ氏は「デザイン」は「都会では出来るが地方では出来ない」という風潮を否定したいと述べ、地方であるとか人口規模などは「らしさ」を表現出来る・出来ないとは関係がないと話されました。谷口氏はデザイナーとしてお仕事する際にはヒアリングを非常に重視されており、規模や予算などに捕らわれず気軽に相談して欲しいと語られました。また、ウィズコロナにおける「デザイン経営」については、エサキ氏から、動く事が難しい今だからこそ自社ブランディングを高める努力が大切だと強く語り、谷口氏も新たなチャレンジが出来る機会であり、宗像へ足を運んでもらう為、今後色々な発信を予定しているとお2人共前向きな考えをお話し頂きました。

視聴者からのQ&Aでは、起業初心者でも「デザイン経営」が出来るのかという質問があり、エサキ氏は起業初心者だからこそ「らしさ」の追求をぜひやるべきであると回答され、宗像市で相談したい場合は谷口氏のようなデザイナーやディレクター・プロデューサーをお勧めしたいと結びました。



ディスカッション風景 1



ディスカッション風景 2

令和2年度第4回宗像ビジネス交流会「むな BIZ」は、「デザイン」がテーマという事もあり様々な資料が紹介され、目や耳で楽しみながら経営に触れることが出来ました。政府も推奨している「デザイン経営」ですが、会社の歴史の長さに関係なくどんな会社・経営者であっても取り入れて頂きたいと感じました。もし、相談する相手に悩まれた場合は今回登壇された谷口氏はもちろん **fabbit** 宗像までお気軽にご相談頂ければ幸いです。次回の「むな BIZ」はアンケートでもご要望が多かった今話題のSDGsをテーマにお届け致します。

fabbit 宗像 むな BIZ レポーター